

プロジェクト報告書

団体名 東京恵明学園乳児部

1. プロジェクト名

職員研修事業(人材育成事業)

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

児童福祉施設における小規模化が勧められる中で、当学園は平成 23 年度に 2 カ所、平成 25 年度に 2 カ所、26 年度に 2 カ所が小規模グループケアに承認され、6 部屋全ての居室が小規模のオールユニット化となった。それに伴い、今年度は職員加算が増加となり、多くの新任職員を採用することとなった。そして、新しい体制に伴うリーダーの入れ替えも多く、学園理念に基づく養育方針や環境整備を再度確認する必要がある。そして、小規模化に伴う細かな情報交換や意思疎通がスムーズに図れるよう、コンサルタントの力が必要となる。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

人材育成研修として 6 月と 10 月の 2 回を使い、職場環境の向上を図る。

6 月: 午前中にリーダー職員対象の理念を実現させるためのリーダーとしての行動について、ワークショップを行う。その後、全職員が集まり各チーム別に分かれ、理念を現実にするための行動についてワークショップを行う。

そして、その後チームの 2 番手・3 番手職員が集まり、2 番手・3 番手として期待することや新任職員への指導を行うためのコーチングについて、コンサルタントしてもらう。

11 月: 午前中に新任職員対象に、上半期の目標について達成度合いを振り返り、ワークショップを行う。また、リーダーに対するアンケートを実施し、午後のリーダー対象の研修に役立てる。

午後は、2 番手・3 番手の職員が集まり、自分の強みを理解するワークショップを行う。また、その結果に対する理解と活用方法についてコンサルタントしてもらう。その後、リーダー職員が集まり、新任職員のアンケートと 2 番手・3 番手の結果をもとに、チーム内のコミュニケーションや相手の理解についてのコンサルタントしてもらう。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

現在、小規模化を進めている中で、職員人数は増加しているが、話し合いや討論する時間が減少し、チーム内の考えや意思統一が難しくなっている。そのため、チーム内の仲間同士がコミュニケーションを潤滑に行えるように、自分の理解と相手への理解を行い、話し合いをするきっかけを作ることが出来た。

そして、チームの仲間同士で、コミュニケーションを高めることによって、職場環境の改善と共に、児童への養育の見直しをする事に繋がった。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

チームメンバーがどのように協力し合うのか、お互いがどのような事を期待しているのかを認識することが出来るようになり、自分の立場での自覚が出た上に、チーム内のコミュニケーションにもつながった。

2 番手・3 番手の職員の立場や役割を確認し、リーダーを支える職員の重要性を改めて感じました。特に、今年は新任職員を多く採用したので、指導係でもある 2 番手・3 番手が集まって、この立場ならではの苦勞や大変さを共感し合うと共に、互いに意見や対策をまとめることが出来たことは非常に良かった。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

6月14日 予定タイムスケジュール

1 日 目	
リーダー対象	<p>10:00</p> <p>村上園長開講挨拶 オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理念、ミッション、ビジョン、価値観、目標について ・チームとは/理念と目標による管理(昨年までの実施のおさらい含む) <p>討議1「理念を実現するために必要なリーダーとしての行動」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理念の体現者としてのリーダーの行動とは ・理念の浸透に向けたメンバーへの理念の翻訳・働きかけとは
	<p>12:00</p> <p>昼食休憩</p>
全職員対象	<p>13:00</p> <p>村上園長開講挨拶 講義「午前中の内容共有」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理念について、目標管理について <p>討議2「理念を日々の仕事の中で実現するためには」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理念を実現するために必要な行動とは ・理念をベースとした判断とは
2番手・3番手対象	<p>15:00</p> <p>(休憩15分間 2番手・3番手の方対象)</p> <p>講義「期待役割」 討議3「2番手・3番手に期待される役割とは」 講義「後輩指導・育成のためのコーチングとは」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーチングに必要なスキル(①傾聴力・②質問力・③指摘力) <p>実習1「傾聴力」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後輩の心情理解 <p>実習2「質問力」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後輩に考えさせるアプローチ <p>17:15 まとめ</p>